

## 当社初の女性取締役が就任

三洋化成工業株式会社  
(証券コード 4471)

三洋化成工業株式会社(本社:京都市東山区、社長:安藤孝夫)は、前尼崎市長の白井文さんを社外取締役に正式決定する人事を内定しました。当社の取締役に女性が就任するのは初めてです。なお、本人事は2018年6月22日に開催される当社第94回定時株主総会で承認を受け、正式に決定される予定です。

当社では、「人」中心の経営により全従業員が誇りと働きがいを感じ、成長できる企業を目指しています。女性の取締役の登用により、視点の多様化を経営に反映し、企業価値の向上に努めていきます。

当社は、経営トップが働き方改革を経営重点事項と位置づけ、多様な人材が活躍できる企業を目指して2016年1月から勤務時間を自主的に設定できるフレックスタイム制の導入(研究部門はコアタイムなしのスーパーフレックス制)や、2016年9月から一時間単位で有給休暇を取得できる制度を導入するなど、抜本的な意識改革や制度構築などを推進してきました。

女性活躍推進についても、早くから「仕事」と「育児」の両立・活躍支援策を中心に、さまざまな取り組みを進めており、2007年には京都で初めて厚生労働省より「くるみん」の認定を受けました。2014年10月には女性活躍推進担当を設置し、法定を上回る育児休業制度や職場環境整備などの取り組みを加速してきました。これらの活動が認められ、2017年度にはより高い水準の取り組みを行った企業が受けられる「プラチナくるみん」の認定を受けました。

その結果、主任職以上の女性リーダーが45人(2017年度末時点、2013年度比1.7倍となり、2020年に2013年度比1.5倍とする当初目標を3年前倒しで達成)となりました。

2018年4月には、海外の関係会社であるサンヨーカセイ(タイランド)リミテッドでグループ初の女性取締役が誕生しました。同年6月には韓国三洋化成株式会社でも女性取締役(理事)が就任する予定です。

また、2018年5月に発足した社長直轄の『Sanyo Skin Coffret』プロジェクトでも女性の統括リーダーを起用しました。同プロジェクトは、当社の界面制御技術を中心としたさまざまなコア技術を融合・強化することで、化粧品分野でのソリューション提案を行い、お客様とともに新しい価値を創造することを目的として発足させたプロジェクトです。

2018年に策定した女性活躍推進法に基づく行動計画(第2期計画)では、2020年度までに女性リーダー2017年度比30%(15人)増、女性管理職40%(2人)増とする新たな目標を設定しました。現在の女性リーダーがロールモデルとなり、さらなる女性リーダーの育成・登用を促進するとともに、より働きやすい制度や環境整備を進めていきます。また、女性に限らず多様な人材がいきいきと活躍することにより、さまざまなニーズに対する新たな価値・ソリューションの創出に努めます。

### <参考>

女性活躍推進法に基づく第2期行動計画の詳細は以下の URL をご覧ください  
[http://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/planfile/201804041717033355867\\_1.pdf](http://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/planfile/201804041717033355867_1.pdf)

<本件に関するお問い合わせ先>  
三洋化成工業株式会社 広報部  
電話 075-541-4312